

やさしい先生
もいるけど
怖い先生もいるよ



もと違い、今日は乱暴だなと感じたり、「おんぶして、抱っこして」ということが多かったりするときには「家庭や学校で何かあったのかな」と心配になり、話を聞いています。子どもたちは、言葉で表現できない分、自分の想いを遊びの中や態度で表します。相手に話したい、伝えたい、そして、分かってもらいたいという想いなのです。その想いが周りに分かってもらえた、つながりを感じたというかわりの実感の積み重ねが心の体力となるのです。子どもたちは仲よし会という居場所の中で、友だちとかかわり合いながら自分らしさを磨いているのです。

わたしたち大人は、家庭や地域の中で、見えない子どもたちの想いを見ようとする力、聞こうとする姿勢を持つことが大切であり、自分の思ったこと、感じたことを素直に表してもいいんだと思える「安心感」を子どもに手渡すためにも、いかにその想いに寄り添うかが問われているのではないのでしょうか。

外遊びが
楽しいよ
仲よし会が
好き

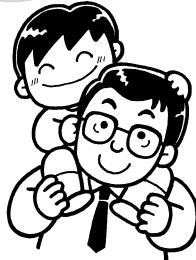
仲よし会の現場レポート 保護者と指導者に聞きました



友だちが
たくさん
できたよ

保護者の声

- ・毎日子どもが楽しみにしています
- ・お誕生会などの催しがあるので、子どもが喜んでいます
- ・毎日の外遊びで、子どもが丈夫になりました



- ・平日は午後6時まで、夏休みのときは朝8時から預かってほしい
- ・3年生まで受け入れてほしい
- ・子どもの宿題をする時間があればいいな
- ・仲よし会が学校から離れているのでちょっと不安
- ・天気がよい日は外で遊ばせてほしいな



指導者の声

- ・子どもの成長を支援しているということを、理解してほしい
- ・友だちを見下す言い方や言葉遣いの乱暴な子どもがいる
- ・午後5時30分になっても親から連絡がないと不安になるので連絡してほしい
- ・後片付けをしない、話を聞かない子が多いので普段から注意してほしい
- ・土曜日、親が休みの日は子どもと接してほしい。子どもたちは、親の愛情不足かなと感じることがある
- ・物を大切にしてほしい
- ・おやつを粗末にしないでほしい



- ・子どもたちには、基本的なあいさつや礼儀などを教えたいと思っています
- ・すべての子どもたちと公平に接しています
- ・できるだけ子どもの話を聞くように心掛けています
- ・子どもたちを名前と呼ぶようにしています
- ・自分の子どもと同じようにしかっています
- ・だっこやおんぶなどスキンシップを心掛けています